

令和6年度 県立学校による「地域と共にある学校づくり」実施報告書

番 号	6	学 校 名	高田高等学校
-----	---	-------	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	コスモスプラザの夏休みイベント「高田高校生によるサイエンス教室」(科学部の活動の一環として実施)
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	教育課程に位置づけられていない取組 子どもたちとの活動の場とし、高校生と小学生の交流を通し、コミュニケーション能力向上を図る。
連携・協働相手	コスモスプラザ(大和高田市)
地域と共有している目標・課題等	子どもたちに科学への興味をもってもらうため、高校生と小学生の交流の場を設ける。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
令和6年8月8日(木)に、大和高田市内にあるコスモスプラザにおいて、「コスモスプラザの夏休みイベント」の一環として、本校の科学部がサイエンス教室を実施した。今年度は「紫キャベツでカラフルな花束をつくろう」をテーマに、実験道具の準備や説明用のプリントの作成、提示用のスライドの作成、当日の運営や司会に至るまで、全て生徒たち自身で行った。実験の内容は、紫キャベツに含まれるアントシアニンが、酸性では赤色、アルカリ性では青色に変化する性質を利用し、コーヒーマルターを染めてカラフルな花束をつくるというものである。地域の小学生が40名ほど参加し、個性豊かな作品づくりを通して、楽しみながら科学を学ぶ良い機会となった。	

2. 事業の成果と課題

2回目の開催となった本取組は、昨年度に実施した第1回の反響もあり、キャンセル待ちが出るほどの人気ぶりであった。小学生がワークショップを通して楽しんで科学を学ぶ機会であると同時に、高校生にとって実験内容の考案から当日の司会運営に至るまで、全て自分たちで行うという経験を通して、責任感や達成感を体験する機会でもある。普段の生活ではなかなか経験することのない「小学生に教える」という体験に、難しさや戸惑いを感じながらも一生懸命取り組み、自信にもつながったと考えられる。また、長期休業中に子どもを体験活動に参加させたいという保護者のニーズ、およびコスモスプラザの交流スペースを有効活用したいという大和高田市のニーズも満たすことができる非常に良い取組であるため、次年度も開催したいと考えている。

